

授 業 科目名	【 G 】 英米法Ⅱ		区 分	開講年次	【 G 】 3 【 EF 】 3	単位数	【 G 】 2 【 EF 】 2
	【 EF 】 英米法Ⅱ		選 択				
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独		【 G 】 【 EF 】				
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	統 治 行 為 お よ び 司 法 制 度				担 当 者	吉 田 一 雄	
授業概要	【概要】	英米法とは、比較法上、大陸法または社会主義法と対置される法制度の呼称である。英米法Ⅱでは、法制度比較に根本としての、統治行為(憲法)及び司法制度を取り上げて、比較法の手法により、日本の法制度に関する一層の理解を図ることを目的とする。					
	【到達目標】	日本とは異なる法制度の学修を通じて、それと対照をなすものとしての日本法をよりよく理解できることを目標とする。訴訟法をはじめとして必ずしも日本の法分野でも学修していない事項に関する言及も多くなると予想されるので、概要を把握する好機として取り組むことが期待される。					
履修条件	なし						
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		◎ (よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－ (当てはまらない)				
他科目との 関連性	英米法Ⅰ、法学全般、憲法ⅠⅡ、民事訴訟法、刑事訴訟法						
教科書	「アメリカ法への招待」E・アラン・ファーンズワース著スティーブ・シェパード編 笠井 高山訳 勁草書房 ISBN978-4-326-40288-5 ￥2500＋税						
参考書	『英米法序説』矢頭敏也編著(敬文堂)(絶版だが、本学図書に蔵書あり。) 日本法に関する法学の教科書(各自任意)						
評価方法	各時間、授業レポートとして、A4版1ページのレポートを提出すること(最低10レポートの提出がなければ単位を与えない)。提出されたレポートの高得点の2本の合計を評価とする。						
フィードバック 方法	授業レポートにつき、全体へのフィードバックの他、各自にはレポートの添削を行う。						
評価基準	英米法と日本法の司法制度が異なることを理解している水準を「C」、英米法における司法手続きの概要を理解している水準を「B」、具体的な法域ごとに調査できる水準を「A」、レポートと確認テストが高水準である場合を「S」とし、日本法との差異が理解できていない水準を「D」、全くの無理解を「E」とする。また、レポート10本が提出されない場合には「F」。						
その他	英米法固有の問題を扱うほか、比較法の目的のため、日本法について相当量言及がある。また、学習効果を高めるため、学習環境改善のための内容を盛り込むことがある。 授業ごとの予習・復習時間は、各120分程度を目安としてください。						

授 業	【 G 】	英米法Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
科目名	【EF】	英米法Ⅱ	選 択		【EF】 3		【EF】 2
授業回数	授業内容						
1	英米法Ⅰの復習(1)(英米法とは何か)						
	予習： 英米法Ⅰの内容復習		復習： 英米法Ⅰ未履修者はシラバス記載の該当箇所				
2	英米法Ⅰの復習(2)(判例法主義とは何か)						
	予習： 英米法Ⅰの内容復習		復習： 英米法Ⅰ未履修者はシラバス記載の該当箇所				
3	憲法の構造(統治と人権)						
	予習： 我が国の憲法について該当箇所を理解すること		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
4	権力分立と三権分立						
	予習： 三権分立の抑制と均衡6項目について理解すること		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
5	裁判所の構成						
	予習： 我が国の司法制度を確認すること		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
6	三審制と上訴制度						
	予習： 我が国の司法制度を理解すること		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
7	陪審制						
	予習： 陪審制の問題点・課題は何か		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
8	裁判管轄と法域						
	予習： 我が国の民事訴訟手続きはどうなっているか		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
9	刑事訴訟制度						
	予習： 我が国の刑事訴訟手続きはどうなっているか		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
10	おとり捜査と司法取引						
	予習： 我が国ではどのように運用されているか		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
11	法曹養成システム						
	予習： イギリス、アメリカ全く異なるシステムであることに注意		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
12	英米法と大陸法それぞれの裁判官の役割						
	予習： 教科書の索引から該当箇所を参照すること		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
13	法改革						
	予習： 国会を通じた法改革と、法曹の独自のアプローチ		復習： 我が国の制度との違いを理解すること				
14	理解度確認						
	予習： 授業レポートの補完		復習： 疑問点の確認				
15	総まとめと理解度確認講評						
	予習： 疑問点の確認		復習： 疑問点の確認				